

伝えていく

糸魚川東中学校 2年1組 澁谷 花奈

私が今回、広島派遣に行き、戦争・原爆を知って印象に残ったのは、「特攻」です。特攻とは特別攻撃の略で、10代から20代の青年たちが爆弾をつけた飛行機に乗って、敵軍にぶつかるという作戦です。当然生きて帰ってくることはできません。家族や友達にも会うことはできなくなってしまいます。

私は特攻のことをテレビで少し見ただけで、詳しくは知らなかったのですが、「大和ミュージアム」へ行き、資料を見たときに「本当にこんな兵器があったのだ」と実感しました。自分たちと同じくらいの若い人たちが訓練をして、飛行機に乗って命を落としてくる。想像もできない残酷さと悲痛さを味わいました。それと同時に、よっぽど日本が緊迫していた状況だったということも知りました。

特攻だけに限らず戦争や原爆は、大切な人を一瞬で奪い、何百人、何千人の人生を変えてしまうものであり、もし生き残ったとしても、放射線などの影響でたくさんの方の後遺症を持つこととなり、人間らしく生きることも死ぬことも許さない恐ろしいものです。

そして今は、ロシアとウクライナの戦争が世界中で報道されています。ロシアは「核」を使うかもしれないと言及しており、可能性はゼロではないです。まだ使用していませんが、核を使わなくとも銃で罪のない市民が次々と殺されていきたくさんの人が悲しみを抱えて生きています。

私は、唯一の被爆国の国民として、ロシアやウクライナまで届くか分かりませんが、戦争や原爆は人から当たり前の生活を奪い、何年も何十年も苦しめ続ける、そして負の歴史として残り続けることになるということを伝えていき、世界が平和で幸せであり続けるようにしていきたいです。
